

経営比較分析表（令和5年度決算）

埼玉県 滑川町

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	水道事業	末端給水事業	A6	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	1か月20㎡当たり家産料金(円)	
-	88.34	99.85	2,310	

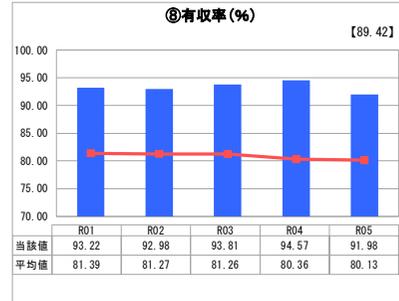
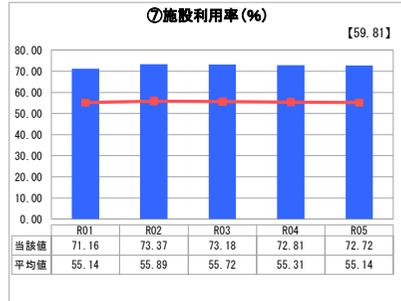
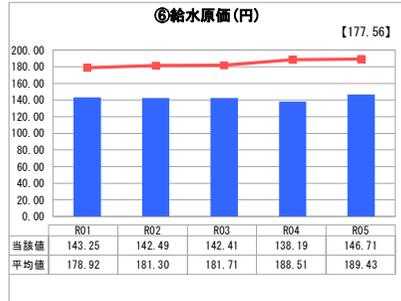
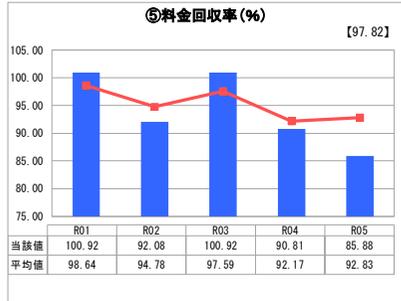
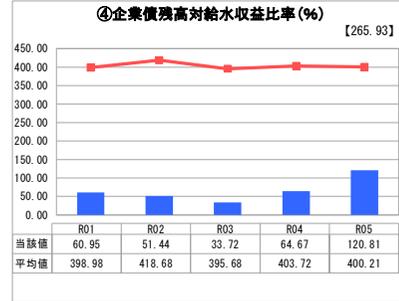
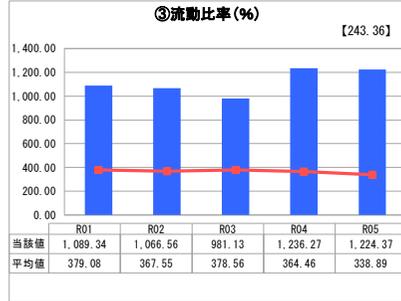
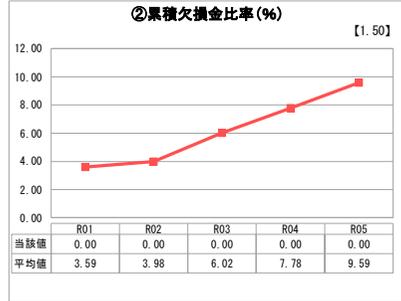
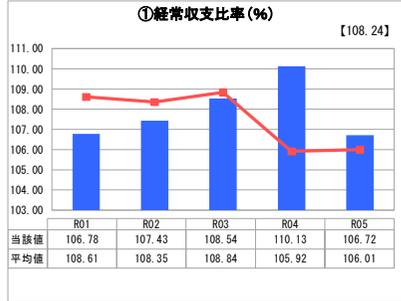
人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
19,745	29.68	665.26
現在給水人口(人)	給水区域面積(km ²)	給水人口密度(人/km ²)
19,636	29.35	669.03

グラフ凡例

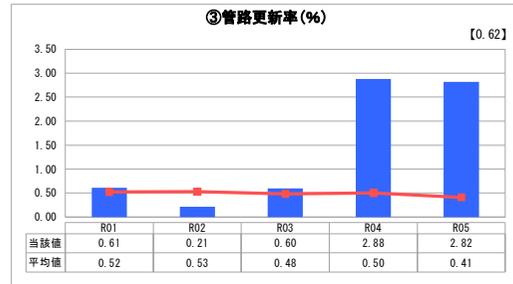
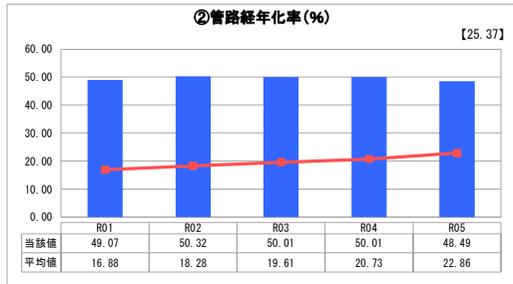
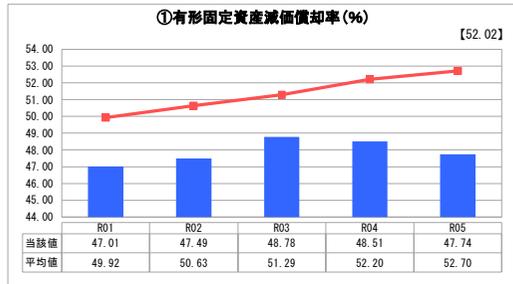
- 当該団体値(当該値)
- 類似団体平均値(平均値)

【】 令和5年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

①経常収支比率
前年度から3.41ポイント減少し、類似団体平均値を上回ったものの全国平均を下回った。これは令和4年度より地方債借入れを再開し、令和5年度より地方債償還金が増大したことが影響している。また、黒字経営を示す100%以上の数値を出している為、今後も収支の推移に注意し健全な経営を目指す。

②累積欠損金比率
本年度も0%を維持している。営業収益に対し、複数年にわたる損失はないことを示している。

③流動比率
前年度より11.9ポイント減少したものの、全国平均値及び類似団体平均値を大きく上回っており、1年以内に支払うべき債務に対して支払可能な現金等があり、短期的な債務に対する支払能力を有していることを示している。

④企業債残高対給水収益比率
前年度より56.14ポイント増加しているものの、全国平均値及び類似団体平均値を下回っている。令和4年度より継続的に企業債借入れを実施している為、増加の傾向である。

⑤料金回収率
前年度より4.93ポイント減少している。大きな要因として半年間、水道料金基本料金減免事業を他会計繰入金により実施したことによる、供給単価の減少が挙げられる。翌年度は実施の予定がない為、100%以上の回収率を目指す。

⑥給水原価
給水1㎡あたりの経費。前年度より8.52ポイントの増加となるが、全国平均値及び類似団体平均値を下回っている。安い原価で給水ができていないことを示している。

⑦施設利用率
例年と同程度であり、全国平均値及び類似団体平均値を上回っており、施設利用状況が良好であることを示している。

⑧有収率
前年度より2.59ポイント減少であるが、全国平均値及び類似団体平均値を上回り、高い数値を維持している。施設の稼働状況が収益に反映されていることを示している。

2. 老朽化の状況について

①有形固定資産減価償却率
有形固定資産の減価償却がどの程度進んでいるかを表す指標。前年度より0.77ポイントの減少となっており、令和4年度より実施されている配水管老朽化更新事業が効果を表し始めている。一方で全国平均値及び類似団体平均値を下回っているものの、50%に近い数字である為、一層の更新が必要である。

②管路経年化率
法定耐用年数を超えた管路延長の割合を示す指標。前年度より1.52ポイントの減少となっているが、例年、全国平均値及び類似団体平均値を大きく上回っており、管路の更新への対応が必要である。

③管路更新率
該年度に更新した管路延長の割合を示す指標。前年度に比べ0.06ポイント減少しているが、令和4年度より「重要給水施設配水管路耐老化及び老朽管更新事業計画」に基づいた更新工事を実施しており、全国平均値及び類似団体平均値を上回っている。今後とも事業は継続される為、老朽管更新率は横ばいとなる見込みである。

全体総括

令和5年度の経営の健全性・効率性についてはおおむね適正であると判断されるものの、料金回収率の向上や施設等の老朽化は依然として重要な課題点であり、今後の更新工事や未収金の解消等に取り組む必要があります。

平成30年度に策定した経営戦略及びアセットマネジメント(資産管理)、令和元年度に策定した水道事業ビジョン及び令和5年度に策定した経営戦略改定版に基づき、基本理念である「未来をつなぐ暮らしを守る 安心・安全な滑川水道」を目標に、住民の皆様が安心して水道を利用できるよう、より一層の経営基盤の強化を図ってまいります。

経営比較分析表（令和5年度決算）

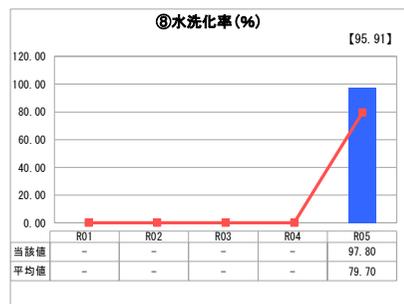
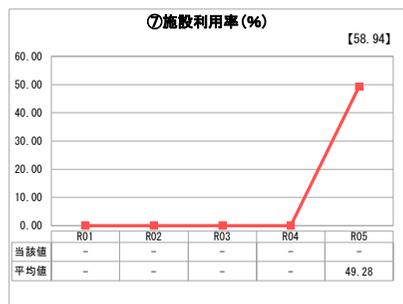
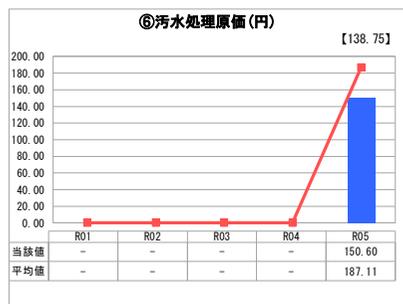
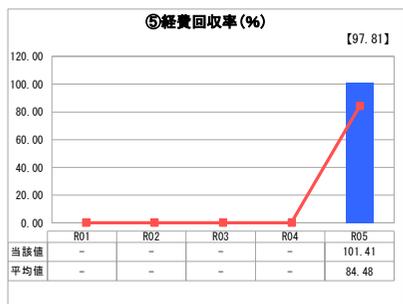
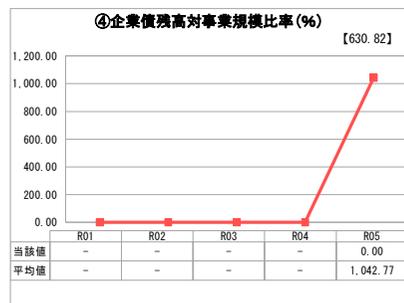
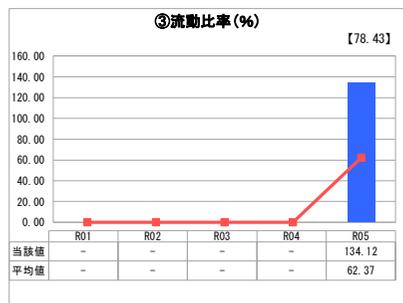
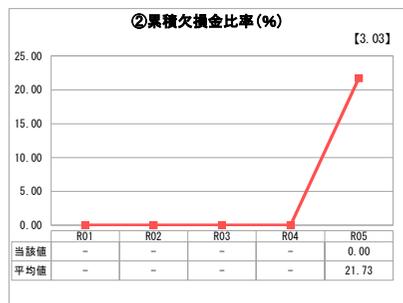
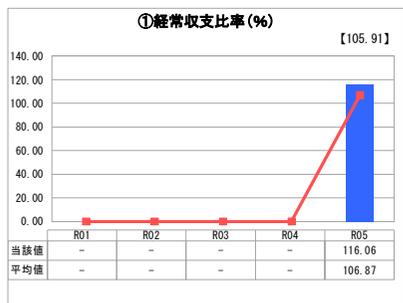
埼玉県 滑川町

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	下水道事業	公共下水道	Cc2	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m ³ 当たり家賃料金(円)
-	74.51	56.33	93.78	2,530

人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
19,745	29.68	665.26
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km ²)	処理区域内人口密度(人/km ²)
11,078	2.73	4,057.88

グラフ凡例
■ 当該団体値(当該値)
— 類似団体平均値(平均値)
【】 令和5年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

① 経常収支比率
類似団体平均よりも上回っていますが、一般会計繰入金に頼った経営となっています。経費削減など経営改善に向けての取り組みが必要です。

③ 流動比率
流動比率は100%を超えています。企業債の償還は今後も続くため、現金の確保に向けた取り組みが必要です。

⑤ 経費回収率
経費回収率は100%を超えており、今年度は使用料で汚水処理費を賄っていますが、今後維持管理経費の増加や施設の更新が必要になるため、経営戦略に基づき安定した経営を目指します。

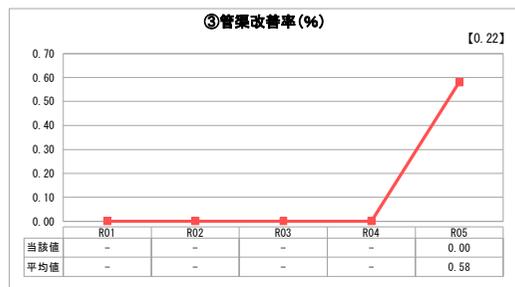
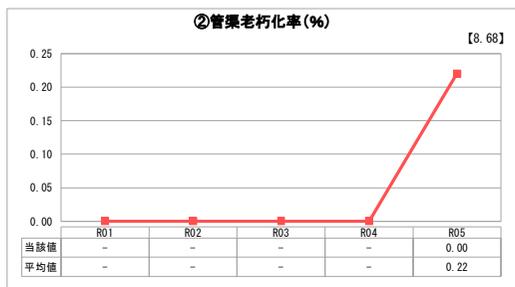
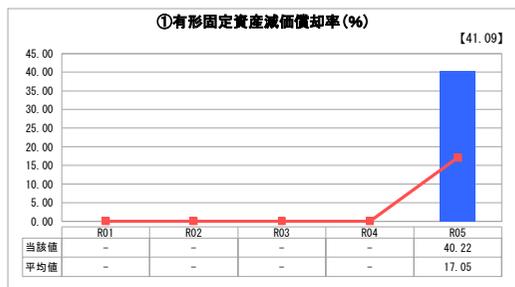
⑥ 汚水処理原価
類似団体平均値を下回っていますが、全国平均値は上回っている状況です。下水道接続人口の少ない小規模団体にあって、効果的な汚水処理が必要となります。

⑧ 水洗化率
水洗化率は類似団体と比較高い数値となっている。今後も水洗化率の向上のため啓発活動を行っていきます。

2. 老朽化の状況について

供用開始が平成6年ということもあり、管渠の全体的には老朽化が少ないため、管渠改善率0%が続いている。しかしながら、陥没事故等を防ぐためカメラ点検調査を継続し、今後ストックマネジメント計画に基づき計画的な更新を行っていく必要があります。

2. 老朽化の状況



全体総括

当町では、下水道の新規整備はほぼなく、既存の下水道の維持管理や修繕を行っている状況です。また、一般会計繰入金に依存した経営となっているため、改善が必要です。令和5年度より企業会計に移行し財政状況を把握しやすくなったため、維持管理経費の抑制や、使用料の改定など、経営戦略に基づいた安定的な経営に向けて努めていきます。

※ 「経常収支比率」、「累積欠損金比率」、「流動比率」、「有形固定資産減価償却率」及び「管渠老朽化率」については、法非適用企業では算出できないため、法適用企業のみ類似団体平均値及び全国平均を算出しています。

経営比較分析表（令和5年度決算）

埼玉県 滑川町

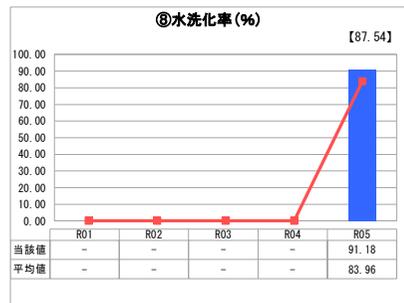
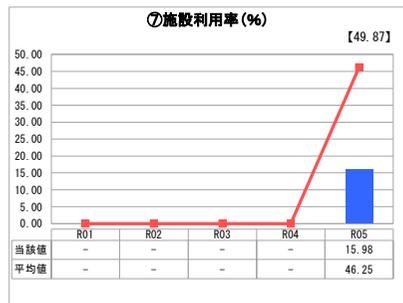
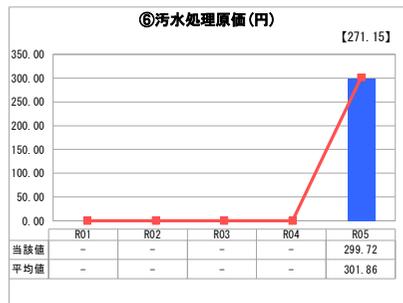
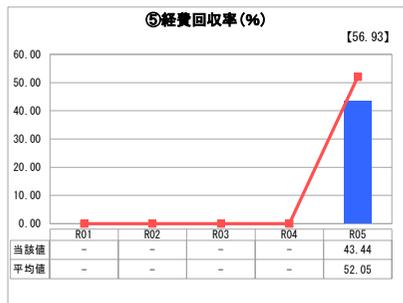
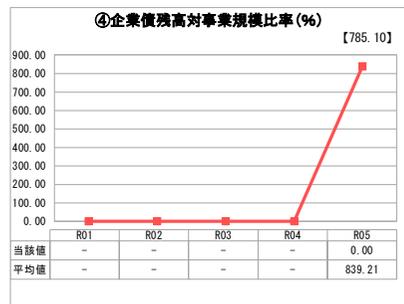
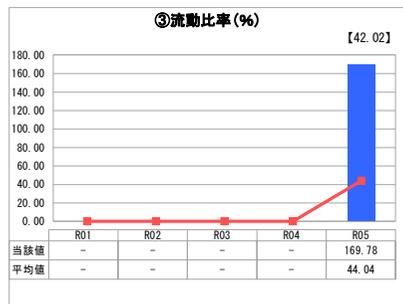
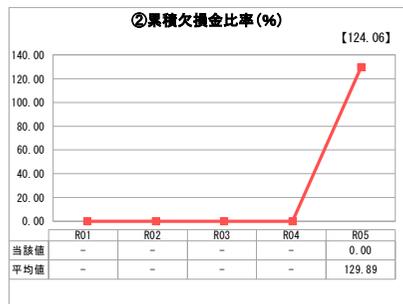
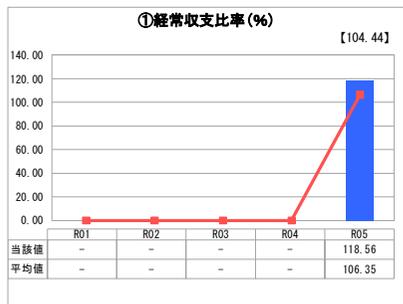
業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	下水道事業	農業集落排水	F2	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m ³ 当たり家庭料金(円)
-	74.55	6.92	80.45	2,530

人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
19,745	29.68	665.26
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km ²)	処理区域内人口密度(人/km ²)
1,360	0.64	2,125.00

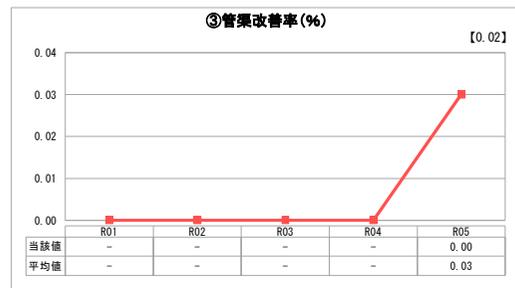
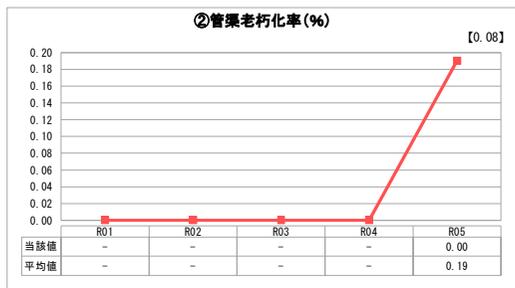
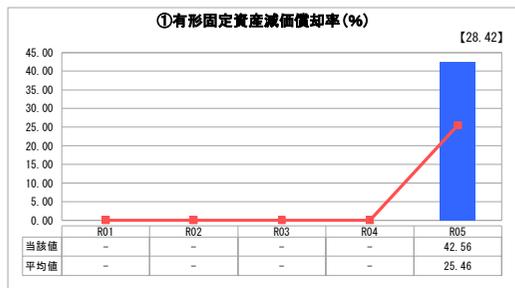
グラフ凡例

- 当該団体値(当該値)
- 類似団体平均値(平均値)
- 【】 令和5年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

① 経常収支比率
類似団体平均よりも上回っていますが、一般会計繰入金に頼った経営となっています。経費削減など経営改善に向けての取り組みが必要です。

③ 流動比率
流動比率は100%を超えています。企業債の償還は今後も続くため、現金の確保に向けた取り組みが必要です。

⑤ 経費回収率
経費回収率は類似団体平均値を下回っています。農業集落排水事業区域は人口減少傾向にあるため、有収水量も減少しています。使用料で汚水処理費を賄うため、施設の維持管理経費の削減など安定した経営への取り組みが必要です。

⑥ 汚水処理原価
類似団体平均値とほぼ同様の値ですが、効率的な汚水処理が必要となります。

⑧ 水洗化率
水洗化率は類似団体と比較高い数値となっています。今後も水洗化率の向上のため啓発活動を行っていきます。

2. 老朽化の状況について

③ 管渠改善率
平成10年から供用を開始し、管渠の耐用年数は過ぎていないため、管渠の更新は行っていません。そのため管渠改善率0%となっています。将来は管渠が必要となるため、限られた財源の中で、計画的に更新を行っていく必要があります。

全体総括

農業集落排水事業は整備区域の人口減少に伴い使用料の減少が見込まれます。しかし処理施設の維持管理費、修繕費など経費は増加傾向にあり、一般会計繰入金に依存した経営となっています。効率化による維持管理経費の抑制、使用料の改定を行いながら今後の管路更新なども見据え、現金を確保し、安定した経営を目指す必要があります。

※ 「経常収支比率」、「累積欠損金比率」、「流動比率」、「有形固定資産減価償却率」及び「管渠老朽化率」については、法非適用企業では算出できないため、法適用企業のみ類似団体平均値及び全国平均を算出しています。

経営比較分析表（令和5年度決算）

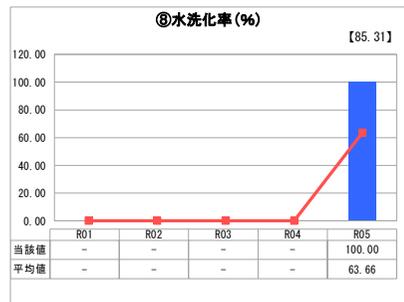
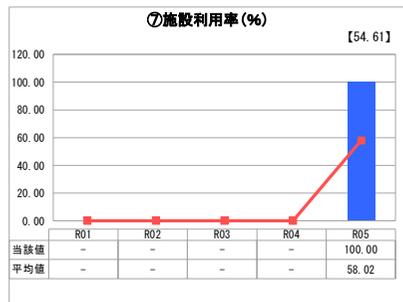
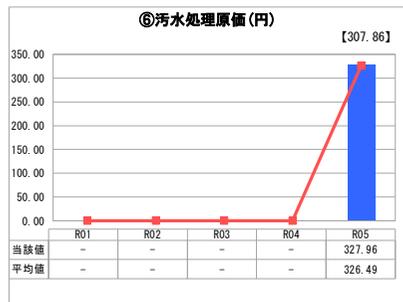
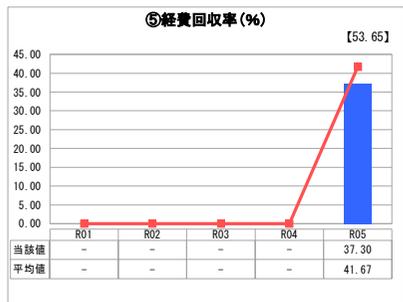
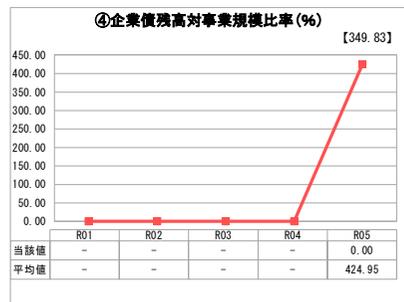
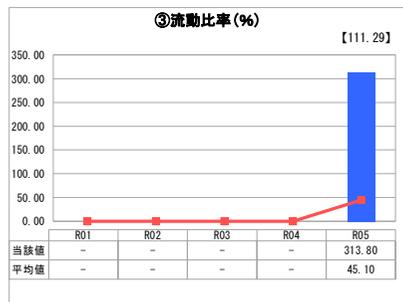
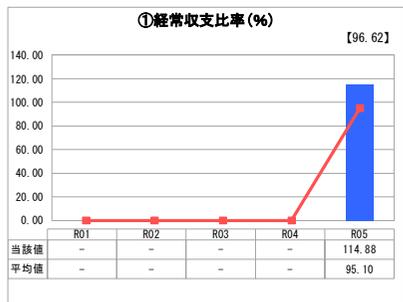
埼玉県 滑川町

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	下水道事業	特定地域生活排水処理	K3	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m ³ 当たり家庭料金(円)
-	67.48	2.98	100.00	3,300

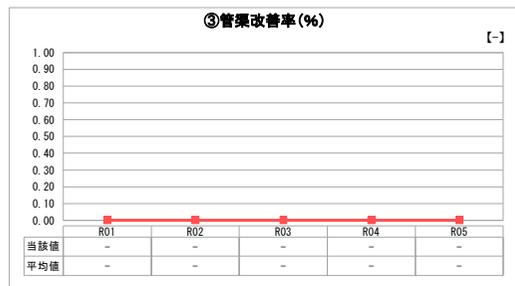
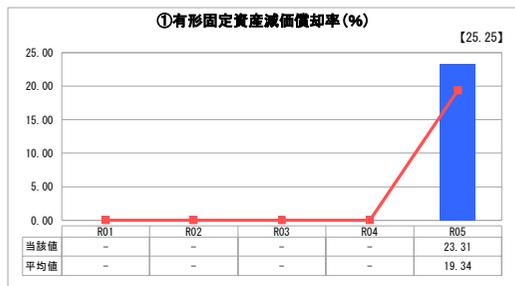
人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
19,745	29.68	665.26
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km ²)	処理区域内人口密度(人/km ²)
587	25.83	22.73

グラフ凡例	
■	当該団体値(当該値)
—	類似団体平均値(平均値)
【	令和5年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

① 経常収支比率
類似団体平均よりも上回っていますが、一般会計繰入金に頼った経営となっています。経費削減など経営改善に向けての取り組みが必要です。

③ 流動比率
流動比率は100%を超えています。企業債の償還は今後も続くため、現金の確保に向けた取り組みが必要です。

⑤ 経費回収率
経費回収率は類似団体平均値を下回っており、低い値となっています。経費回収率上昇のため、維持管理経費の削減など安定した経営への取り組みが必要です。

⑥ 汚水処理原価
類似団体平均値とほぼ同様の値ですが、効率的な汚水処理が必要となります。

⑦⑧ 施設利用率、水洗化率
施設利用率、水洗化率については、設置申請に基づき整備しているため、現状100%となっています。

2. 老朽化の状況について

浄化槽の整備事業のため、管渠老朽化、改善率は該当しませんが、公共浄化槽整備事業が始まって10年以上使用している浄化槽もあるため、今後修繕は増加する見込みです。

全体総括

当町では公共下水道整備区域、農業集落排水整備区域以外の区域を公共浄化槽整備区域としており、整備を進めているところですが、整備対象を単独浄化槽や汲み取りからの転換のみとしているため年々整備基数は減少しています。整備基数増加に向けた啓発活動を行い、使用料収入を確保する必要があります。ただ整備基数が増加しても一般会計繰入金に頼った経営は続くため、使用料の適正化、経費の効率化を図り、安定した経営を目指す必要があります。

※ 「経常収支比率」、「累積欠損金比率」、「流動比率」、「有形固定資産減価償却率」及び「管渠老朽化率」については、法非適用企業では算出できないため、法適用企業のみ類似団体平均値及び全国平均を算出しています。